



本願力

横浜別院だより

【神奈川連合組子ども会 夏のつどい IN 横浜別院】

雑感 六

輪番 坂田 智亮

これまでの厳しい暑さが少しは和ら
いできたかと思えば、「数十年に一度」
とか「これまでに経験したことのない
大雨」だとか「線状降水帯」あるいは、
「いのちを守るための最善の行動」
「自ら避難の判断」などなど、これま
であまり聞きなれていない言葉で、近
年どこかで起きうる豪雨の恐ろしさと
災害の状況をメディアは克明に伝えて
いる。北極の水が急速に溶けるとい
う異常気象、大火事によってアマゾンで
作られる酸素が減少しても、私などが
天気で、台風の進路にしても大雨にし
ても、九州北部に大雨と聞けば食いつ
てニュースを聞き、他の地方と聞けば
案外上の空で平然としていられるもの
である。郷土の代表を応援する夏の甲
子園、日本人を応援する国際世界大会、
なんと人間は煩惱と我執の心を遊んで
小さく生きている。

先日、テレビで、これが「どきどき」
と言うやつだという場面があって、そ
の言い回しに懐かしさを感じた。突然
の出来事や急用のなどのため、混乱し

〒234-0051

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院
横浜市港南区日野一十一-八

FAXTEL
(045) 841-1343
(045) 841-1342
(http://www.yokohama-otani.com)

ている状態、ゴタゴタ落ち着きを失っているさまと
言う意味であるらしい。仮に状況がゴタゴタであつ
たとしても、その事実は元に戻せない。そのゴタゴ
タからくる結果を一身に受けていくことしかできな
いのである。まして翌々考えてみれば、我々はいの
ちある限りすべてがゴタゴタ、予期せぬことの連続
で行き着く処はどこにもない。意のごとく的確に事
が運ぶこともなく、想像力と判断力が冷静に機能し
てよき人生だったと思えることもなさそう。人生
は思いがけない混乱と混沌の現実が到来してくるの
だから・・・どんな境遇と境涯を送るのか全く予想
もできない。だから「力を蓄えてこそ」という人も
いるだろう。・・・日々刻々といろんな出来事が起
こる現実。うれしいことも悲しいこともある。けれ
ども何一つとして受け取ることができない。現れて
いる因縁が解らずにいる私共の在り方を「煩惱具足
の凡夫」と押さえてくださっている。

地方の中心道場としての別院は神奈川教化センター
の看板を掲げて早や三年が過ぎた。

テーマ「いまひらく、ありのままのわたし」

「時代社会に苦悩する人々に本願念仏の教えによつ
て人生を獲得する場を創出すること、混迷を深める
世に浄土を生きる願生者の共感を組織すること」
この使命は果たされつつあるのだろうか。

このところのセンター事業は、原発や放射能、ハ
ンセン病、グリーンフケアなど豊かな社会を目指しつ
つも人間社会が作り出してきた「人間の悲しみ」を
課題として学び、向き合う研修を実施している。
言い訳もせず、誤魔化しもせず、正当化もせず、開
き直りもせず、あきらめもせず、現に遍在する悲し
みの声を多くの朋と聞き続けて行きたくなる。

「生死のあわいにあればなつかしく候
みなみなまぼろしのえにしなり」 石牟礼道子

新盆法要（七月七日）

夏らしい暑さが来ないまま、新盆法要当日になりました。横浜別院では、毎年七月の第二日曜日に新盆にあたる別院門徒の方々をご案内して、新盆法要を勤めています。今年は、十五家族六十名の方に参詣をいただきました。午後一時三十分から輪番の挨拶・法話があり、休憩を挟み、午後二時十五分から勤行が勤まりました。今年は例年と異なり、法要終了後に茶話会（グリーンフケア・つどい場）を開催することを計画しました。昨年、全三回のグリーンフケア研修会を実施し、別院門徒の方も多数参加いただいたこともあり、その経験を活かして、研修修了者の門徒の方に新盆法要のお手伝いをしていただき、遺族の方々との交流の場を創出することになりました。残念ながら参加予定のご家族が体調を崩され、開催はできませんでしたが、引き続き継続的に「グリーンフケアのつどい」を開催する動きにつながり、今年十月より始動する準備を進めています。詳細はチラシをご覧ください。

(文責家本)



→ 法話の様子

暁天講座

講師 山本伸裕氏（八月二十四日）
講師 酒井義一氏（八月二十五日）

毎年の夏の恒例行事となりました、暁天講座が開催されました。一日目の講師は山本伸裕氏で、「日本人の宗教心」という講題でお話いただいた。まず、自己紹介から始まり、日本人が持っている宗教心についての話に進みました。山本氏は、「言葉には、二種類ある。頭で考え、客観的事実としての科学の言葉。法蔵菩薩やイエスキリストの物語などの宗教の言葉。この二つの言葉を使い分けているのが我々人間である。例えば、私って何者なのか？と考えた場合、科学の言葉では、水分何％で、DNAから設計されていると答えることができるが、宗教の言葉では、私は日常こういう生活をしていて、このような人間であるとか、物語として自分を語ることができる。つまり、宗教とはいかにようにも物語を語ることである。」と話された。



→ 山本伸裕氏

その後、日本語の「おそれいる、かしこまる、かたじけない、おかげさま」という言葉を手がかりに日本人と宗教の結びつきをお話いただいた。最後に、清沢満之の言葉「天命に安んじて、人事を尽くす」を引用し、阿弥陀仏の他力のはたらきについて話を締めくくられた。二日目の講師は酒井義一氏で、「人間を忘れてはいないか」親鸞とハンセン病問題」という講題でお話いただいた。まず、ハンセン病問題の現状を話され、その後、親鸞とお聖教の言葉を引用された。「雑毒の善、御同朋・御同行、きくひと、浄土真宗の正意、俱會一處」と五つの言葉から、親鸞とハンセン病問題のお話をいただいた。酒井氏は、「多摩全生園に納骨堂がある。それは、死してもなお故郷に帰れないからであります。そんな現実を作ったのは誰ですか？我々宗教者が雑毒の善という形で過ちをおかしてきた事実であります。そんな中、ハンセン病療養所には、『親鸞さまはなつかしい』という歌が歌われ続け、親鸞の教えが根付いています。厳しい現実社会であります。だからこそ、一人ひとりが親鸞に出遇っていくわけです。」(文責家本)



→ 酒井義一氏

【神奈川四ヶ組（横浜・川崎・三浦・湘南）のうぐき】

神奈川連合組子ども会 夏のつどい

(八月十九日～二十日)

神奈川連合組子ども会が別院を会場にして一泊二日の日程で開催されました。別院での開催は四年ぶりですが、前回よりも参加者は多く、子ども二十九名、大人二十五名、総勢五十四名が集まりました。中学生の子から赤ちゃんまでの幅広い年齢層ですが、みんなで楽しむ企画がたくさんありました。まず、十三時半からの開会式では、勤行、輪番挨拶、本多曉実行委員長挨拶、参加者の自己紹介、記念撮影と和やかな雰囲気で行ないました。その後、うでわ念珠づくりを行ない、また高学年の子は流しうめん用の竹の工作作業を手伝っていました。時間はあっという間に過ぎ、入浴、夕食となりました。入浴は別院近くの銭湯にみんなで行きました。夕食の後には、みんな



なお待ちかねの花火をしました。雨が心配でしたが、どうにか天気もち、子どもたちは手持ち花火で大はしゃぎでした。花火の後、就寝前の紙芝居、お菓子パーティーがあり、そろそろ疲れて寝るかと思いきや、まだまだ元氣いっぱいの子でした。本堂で男性全員が寝るのか心配でしたが、布団を敷き詰めて何とか寝床を確保しました。二日目は、おあさじ、ラジオ体操、朝食と進み、ビニールプールで水遊びをしました。スイカ割りでは真剣に棒を振りかざし、スイカに当たらない子は悔しそうでした。昼食の流しうめんはみんなお腹いっぱい食べました。プライスレスな夏の思い出を胸に、閉会となりました。笑顔溢れる二日間でした。

(文責家本)



「神奈川四ヶ組行事予定表」

《神奈川四ヶ組》

【横浜親鸞講座二〇一九】全七回

【日時】第一回 九月十四日(土)

第二回 十月二十六日(土)

第三回 十二月十四日(土)

第四回 一月十一日(土)

第五回 二月十五日(土)

第六回 三月十四日(土)

第七回 四月十八日(土)

※全日程十四時より十六時まで

【講師】海法龍氏(横浜須賀市・長願寺住職)

【テーマ】人間とは何か・歎異抄に聞く

【会場】崎陽軒ビルヨコハマジャスト

一号館八階(横浜駅よりすぐ)

【参加費】一回千円

【神奈川連合組門徒会総会】

【日時】十月八日(火) 十五時十五分

【落語】三遊亭右左喜 師匠

【会場】本願寺横浜別院

【湘南組間法集会二〇一九】

【日時】十月二十八日(月)

十四時～十六時三十分

【講師】釈徹宗 師

(浄土真宗本願寺派如来寺住職)

・相愛大学人文学部教授

【会場】ランドホテル神奈中平塚

【参加費】無料

— 各法要（おつとめ・ご法話）のご案内 — 2019年9月～10月

～どなたもご自由にお参りください～

秋季彼岸会法要9月22日（日）・23日（月・祝）
午後1時30分～4時【法話】 兪漢子（ユヨンジャ）師
（沖縄県在住真宗大谷派僧侶）

お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を偲ぶと共に、自分の生活を振り返る大切な時です。有縁の皆様におかれましては、ぜひご参詣ください。法話の後、座談会も行ないます。

特別公開講演会9月11日（水）
午後1時30分～4時（受付1時より）【講師】 徳田靖之 弁護士
（ハンセン病訴訟西日本弁護士共同代表）

【講題】 「ハンセン病問題と私たちの責任」

【会場】 本願寺横浜別院・神奈川教化センター

【参加費】 1,000円

※参加申込は不要です。直接会場にお越し下さい。

別院声明儀式研修会《第2回》【日時】 10月3日（木）午後1時30分～4時30分

【講師】 友松雅英 師（東京2組西岸寺住職） 【講題】 別院報恩講・習礼 【参加費】 1,000円

※参加申し込みは不要です。報恩講に出仕を予定されている方は積極的にご参加ください。

定例法話 午後1時30分より9月9日（月） 湘南組 明窓寺 藤石 寛 師
9月28日（土） 別院 輪 番 坂田 智亮 師
10月9日（水） 横浜組 順忍寺 織田 至 師
10月28日（月） 別院 輪 番 坂田 智亮 師**おみがき** 午前10時30分より

10月12日（土） 本堂の仏具を磨きます。

※古くなったタオルをお持ちください。

※おみがき終了後、軽食を準備しております。

報 恩 講 ※詳細は別紙の報恩講案内

10月18日（金） チラシをご覧ください

午後1時30分 初逮夜・法話・御伝鈔

午後5時 報恩講夕べの集い

《絵画展「ダキシメルオモイ」
画家・小林憲明氏トーク会》

10月19日（土）

午前7時 初晨朝・感話・静坐会

午前10時 初日中・法話

午後1時30分 結願逮夜・御俗姓・法話

10月20日（日）

午前7時 結願晨朝・感話・静坐会

午前10時 結願日中・法話

【法話】 里雄 康意 師

（大垣教区第17組緑林寺住職）

※19日、20日の晨朝後に軽食、日中後に

お斎（昼食）をお配りさせていただきます。

編集後記

夏と言えば、「暑い」ですが、暑い時期だからこその行事があります。毎年恒例となりました。天講座はもう八年目となる行事ですが、今年も早朝からたくさんの方に参加いただきました。早朝の講座だからこそ、参加される方もおられ、毎年楽しみにしているというお声をいただいています。また子ども会も夏の行事の一つですね。私も小さい頃、地元の子ども会でキャンプに行き、テントの中で夜遅くまでトラントゲームをしていた記憶があります。幼少期の体験やその記憶が成長過程で大事になってきます。「場が人を育てる」という上で、「場」を創ることも大人の役目だと改めて感じました。秋の行事にも多数のご参加お待ちしております。

（家本）

